

台湾・台北科技大学と連携した国際インターンシップ 支援プログラムのご案内



事業概要

背景

- 先端産業（半導体、自動車、AI等）の拠点形成
- 先端技術を持つ海外産業界、アカデミアとの連携の必要性の高まり
- 高度外国人材の積極的な採用、育成の重要性の高まり

インターンシップを通じた
連携強化・採用ルートの開拓

TSMC、ASUSをはじめとした台湾産業界と深いつながりをもつ
台北科技大学の学生による
北九州市先端産業企業などへのインターンシップ
(夏季2カ月間)

国立台北科技大学について

台湾トップ企業へ人材を多数輩出する理工系名門大学
産業界と連携した実践的な研究・人材育成が特徴



■大学概要
設立 1912年
学部数 工学部等 7学部19学科
(学部、修士、博士課程)
生徒数 約13,000人
所在地 台湾・台北市大安区

北九州市への期待

- ✓ものづくりの街・北九州市に学生を派遣し、グローバル人材を育成したい
- ✓北九州地域の大学・研究機関との連携を加速させたい

相互連携による人材育成の推進

台北科技大

実践的な
グローバル人材育成



北九州市

先端産業をリードする
人材の確保・育成



連携

双方の強みを活かして、イノベーションを加速させる
国際インターンシップ・プログラムを始動

インターンシップ受入のメリット

✓ 学生に対して、自社の魅力を発信

高度人材採用の
チャンス！

✓ 台湾とのネットワーク構築・強化

新たなビジネスの
チャンス！

✓ 台湾教育部の補助金活用で、
低負担にてインターンシップの受入可能

インターンシップ受入予定の学生像

✓ 先端産業の振興に資する、意欲的な理工系学生
(電気、機械、情報系等専攻の学部3～4年生、修士1年生など)

✓ 日本語の習得に意欲的な学生

✓ 北九州市をはじめ、日本企業での就職を視野に入れている学生

8/26

**台北科技大と北九州市
が連携協定**



インターンシップ 全体の流れ（モデル）

時期	流れ	備考
10月	参加企業募集	
11月	参加学生募集	
12月	学生情報・企業情報開示	
1月	面接（オンライン） インターンシップ候補決定	台湾側で補助金の申請を行う
5月	補助金の結果発表・受入準備	（対学生）受入協定書（対大学）覚書の締結等含む
7月	入国 ▶▶▶ 宿舍ほか生活環境整備 インターンシップ開始	ビザ免除の範囲で入国 約2か月間 （一部、大学での研修プログラムも検討）
9月	インターンシップ終了・成果報告会 帰国	
10月	フォローアップ	

インターンシップ中の取組み事例（案）

■企業での取組み

- ・IoTシステムのユーザーインターフェース設計・プログラミング
- ・新規導入のロボットの立ち上げ
- ・3D・CADを利用した製品設計
- ・AIを活用したアプリの研究・開発
- ・海外の工場などの市場調査・研究



■大学での取組み

- ・学習用キットを活用したAIプログラムの開発
- ・大学生との交流プログラム



インターンシップ生受入にかかる経費（予定）

学生 の負担経費（政府補助採択前提）

- ◆ 渡航・生活開始支度金
渡航費用、入国後の生活必需品購入費など
- ◆ 滞在費
通信料金、食費、交際費、海外旅行保険、雑費



■ 社内でのインターンシップ実施に関わる経費

■ 住居費用

（例：マンスリーマンション 10万円×2月＝20万円/人）

■ 受入支援経費

（例：3万円×2月＝6万円/人）

企業様の負担経費

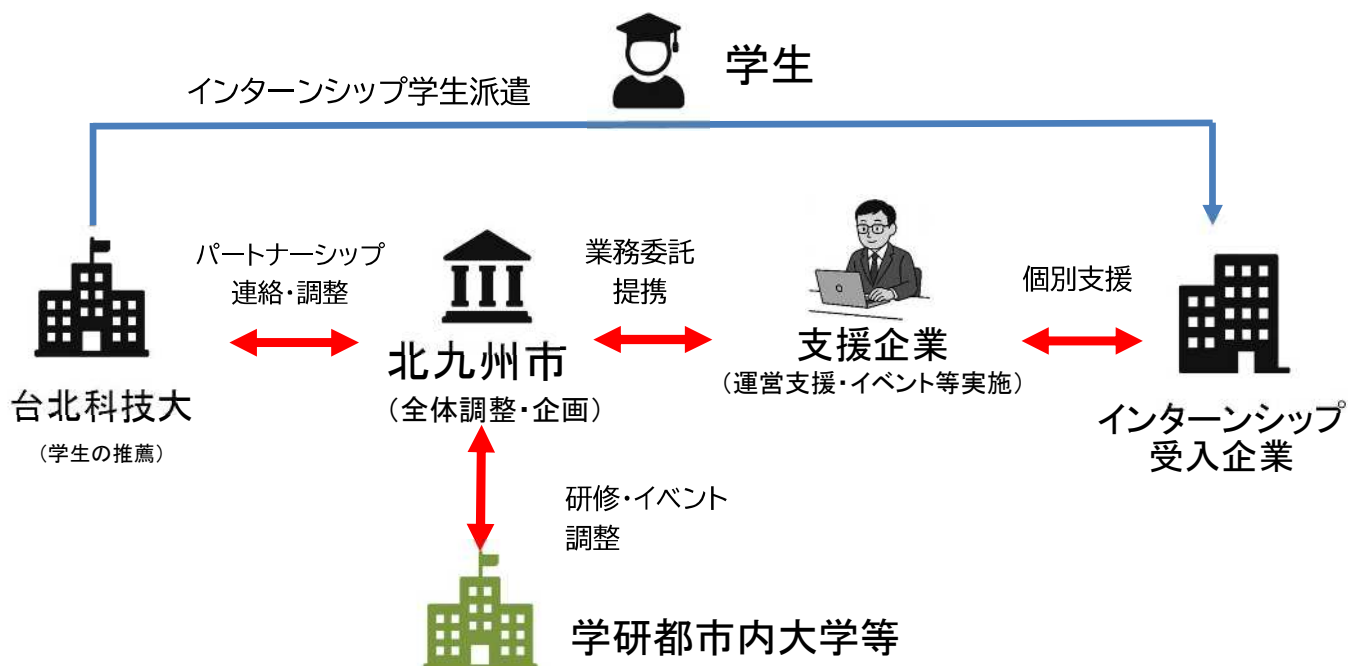


受入れ費用総額 25～30万円程度/学生

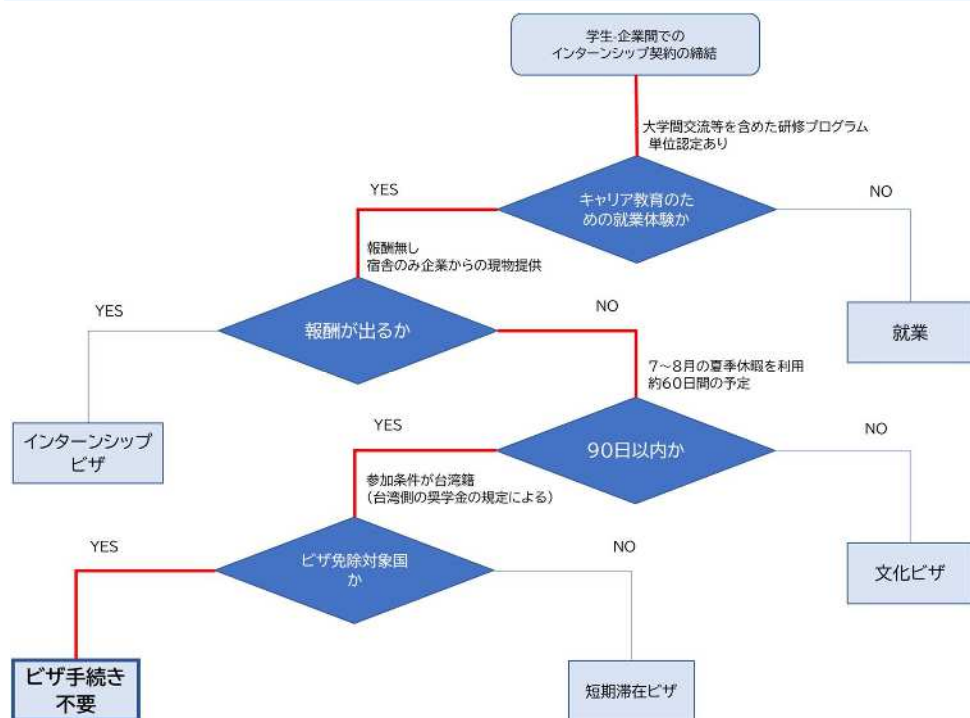
※想定のため、今後の調整により変動する可能性があります。

ビザ免除の範囲内での
短期インターンシップのため、
給与・社会保険費用は発生しません

《参考1》事業スキーム（案）



《参考2》 学生受入れにあたってのビザ等の考え方



左記の整理に従い、
インターンシップ学生は
ビザ手続き不要と整理しています。
(今後、制度の変更等により
ビザ申請等の渡航手続きが
必要となる可能性があります。)

参考：
出入国在留管理庁HP
インターンシップをご希望のみなさまへ
https://www.moj.go.jp/isa/applications/resources/nyuukokukanri07_00109.html



ご検討よろしく申し上げます

2025.9.30現在